

事業番号	09 04 07	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸農業所得向上緊急支援事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト		課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H27 ~		

1 事業の概要

目指す姿	消費者ニーズの高い果樹オリジナル品種への緊急的な更新や、マーケット需要に対応した野菜生産の推進により、園芸農業の一層の振興と生産農家の所得向上を図る。		
現状(予算編成時)	ぶどう「ナガノパープル」は、皮ごと食べられる種なしのぶどうで、消費者や市場のニーズが高く、主力の「巨峰」よりも高価格で販売されている一方、栽培上、裂果しやすい課題がある。そこで、裂果防止技術を農家に周知し、「巨峰」から「ナガノパープル」への品種更新を進める。 なし「サザンスイート」は、病気に強く作りやすい品種で、市場評価が高く同時期に出荷される「幸水」より高価格が期待されるため、「幸水」から「サザンスイート」への転換を誘導し、早期産地化を図る。 アスパラガスは、4～5月期収穫の増産のため、1年養成苗の供給による早期生産拡大により需要期の出荷量を増加させる。〔平成26年2月補正〕		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県オリジナル品種の振興に効果的な施策を展開し、果樹農家の所得向上を図る。 長野県食と農業農村振興計画、農畜産業振興事業補助金交付要綱	
① 成果目標(H27)	ぶどう「ナガノパープル」栽培面積 135ha なし「サザンスイート」栽培面積 27ha アスパラガス 4～5月出荷量 300t		
	② 事業内容 (単位:千円)		
	項目	実施方法	H27事業実績
			H27 (当初) H27 (決算) H28 (当初)
つがるからリンゴ長果25への緊急的な更新	補助金	先進モデル産地の育成補助先(産地協議会等)	
	委託	生産者への高品質果実生産・適期収穫の啓発委託先(長野県園芸作物生産振興協議会)	3,000 1,818
スモモ長果1の商標を活用したブランド化	補助金	新作型生産フロンティア産地の形成補助先(産地協議会等)	15,000
	直接	商標活用戦略の策定	1,368
巨峰からナガノパープルへの緊急的な更新を支援	補助金	実践展示園の設置、更新モデル園のかん水設備、苗木導入等 補助先(産地協議会等)	6,255 270
	委託	生産安定・品質向上研修会の開催(2回)等委託先(長野県園芸作物生産振興協議会)	370 0
サザンスイートの早期産地化	補助金	栽培技術講習会(2回)、消費者へのPR、サザンスイートへの新植等 補助先(産地協議会等)	66 2,382
	委託	市場宣伝用資材の作成・配布等委託先(長野県園芸作物生産振興協議会)	498 0
(再掲) 需要に応える園芸産地育成事業	補助金	アスパラガス産地化プロジェクト	(3,000)
	合計		0 7,189 23,862

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越			7,600	
	当初予算			0	23,862
	補正予算		7,600		
	合計(A)	0	7,600	7,600	23,862
	一般財源				23,862
	県債				
	国庫支出金		7,600		
	その他	0	0	7,600	0
	決算額(B)		0	7,189	
概算人件費	職員数(人)		0.30	0.30	0.30
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	0	2,477	2,483	2,483
		0	2,477	9,672	26,345

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
ぶどう「ナガノパープル」栽培面積	115ha	135ha	135ha	達成	165ha
なし「サザンスイート」栽培面積	22ha	27ha	24ha	未達成	37ha
アスパラガス4～5月出荷量	290t	300t	330t	達成	-
「リンゴ長果25」栽培面積	-	-	-	-	20ha
「スモモ長果1」栽培面積	-	-	-	-	2ha

目標に対する成果の状況	ぶどう「ナガノパープル」については、裂果低減の管理技術が進み、農業者の生産意欲が高まり、栽培面積が拡大した。 なし「サザンスイート」栽培面積については、凍霜害による苗木供給量の不足により、目標達成には至らなかった。 アスパラガスについては、一年養成苗の配布により早期産地化が順調に進み、4～5月出荷量が増加した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 優れた県のオリジナル品種等を活用した園芸産地の競争力強化を図るため、今後はより戦略的な生産振興を図る。
--------------------	--